

一般社団法人ピースピースプロジェクト

活動実績報告書

Published in April 2021

子ども達が安心して暮らせる地球を創る



PEACE
PIECE
PROJECT



<https://peacepieceproject.com>

 [peacepieceproject](https://facebook.com/peacepieceproject)



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

紛争のある国や地域で暮らす子どもたちは約2億5000万人。たくさん子ども達が
争いごとや暴力、環境破壊で命を奪われたり、家族を失うなどのつらく悲しい思いをしています。

ピースピースプロジェクトは、世界各地の子ども達と「子ども世界平和サミット」を主催し、
子ども達が安心して暮らせる地球を創ることで、世界平和実現を目指します。

すべての活動は、国連が推進する人間、地球及び繁栄のための行動計画
「持続可能な開発目標（SDGs）」の達成に貢献しています。



**ピースピースプロジェクトは
平和を創る子ども達を育て
世界平和を実現します**

「ピースピースプロジェクト」という名前とロゴマークには、
「ひとりひとりの小さな愛のかけら(Piece)が集まれば、
大きな平和(Peace)を創りだすことができる」という意味を込めています。

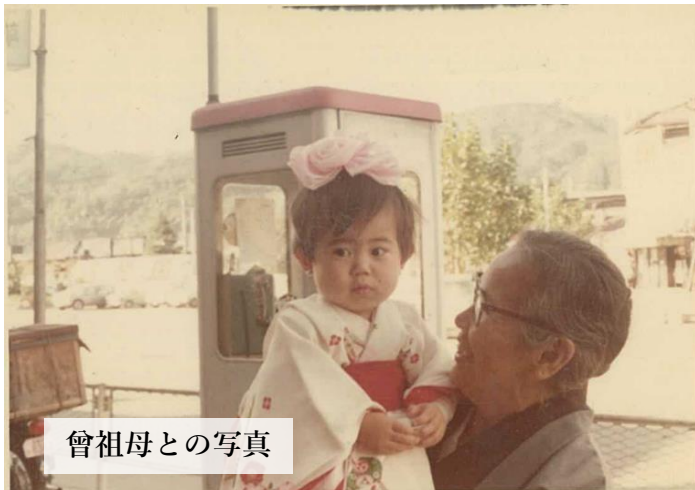


「お逢いする人にもっと幸せになっていただきたい」と願いを込めて
365日ピンクの洋服を着続けて12年の「ピンク社長®」

皆さま、いつも応援いただきましてありがとうございます。
私は、広島で生まれ、育ち、原爆投下によりすべてを失った曾祖母が、
両親を亡くした幼い母を自らの力で育て、事業を再生し、
社会に貢献した姿を見て育ちました。

10歳の時に、交通事故により脳内出血で瀕死の重体となり、生死の境をさまよいましたが、
奇跡的に生還し、その感謝の証として、社会に役立つ起業家を目指す事を決意致しました。

高校生の時、国内外の学生に平和記念公園を案内するボランティア活動に参加したことがきっかけで、
広島から平和の大切さを発信したいと活動を始めました。



曾祖母との写真



子ども達とのオンライン授業

ピースピースプロジェクトは、私たちの小さな平和への想い（ピース：Piece）が集まって
大きな平和（ピース：Peace）になる事を願い、団体名を決定しました。
また、ロゴマークは、私たちのすべての活動が子ども達の笑顔につながるように、
ポジティブなハートが世界に発信している姿を表現しました。

2009年の活動開始から、「世界一大きな折り鶴」でギネス記録達成、
60万名の署名を提出し広島へのオリンピック招致活動、
平和を創る教科書 漫画「キセキのヒロシマ」を日本語、英語、フランス語で出版、
世界各国の教育機関や大統領、首相、大使館などへの寄贈、電子書籍にて無料配信、
そして2020年より外務省後援にて「子ども世界平和サミット」を主催しています。

2025 戦後80年 大阪・関西万博では、
世界100か国 1億人の子ども達と共に平和を創るアイデアを発表し、実現し、
オリンピックの様に100年後も続く「日本発 平和を創る智慧の祭典」を目指し、
世界各国の皆様と共に活動しています。

活動にご賛同いただけましたら、どうかサポーターにご登録いただき、
子ども達の平和学習を応援いただけましたら光栄です。
子ども達の未来が愛と平和に満ち溢れた世界になりますように。

世界平和の実現 ～子ども達が安心して暮らせる地球を創る～

生まれ育った環境や社会的な情勢、さまざまな事情から、「平和」に暮らすことができない子ども達があります。どのような環境に生まれ育った子どもであっても、その子にとっての「平和」が脅かされることがあってはなりません。

未来の地球は、未来を生きる子ども達が創っていきます。子ども達が「平和」の創り方を知らない状態を放置すると、将来、国や地域社会、企業で活躍する人財に深刻な影響を与え、大きな社会的損失となります。子ども達が安心して暮らせる地球を創ることは、非常に緊急かつ重要な課題です。

私たちピースピースプロジェクトは、世界平和の定義を、子ども達が安心して暮らせる地球を創ることとし、その実現のために平和を創る子ども達を育てています。

Vision

世界平和実現のためにすべき目標

平和を創る子ども達を育てる

現状の平和学習は、「戦争」や「核兵器」の自国等の戦争の歴史を学習する機会がありますが、どうすれば「平和」を創れるのかという「平和の創り方」を学ぶ機会がほとんどありません。社会科の授業で戦争の歴史を学んだり、国語科の授業で体験小説や詩を取り扱うだけではなく、「どうやって平和を創るのか」を具体的に考える学びの場を創るため、平和学習用の本を多言語で出版し、教育現場で活用いただいたり、世界各国のリーダーが使用する衆議院議員会館 国際会議室で平和を創る方法をスピーチする「子ども世界平和サミット」を主催しております。2025年には、世界100か国1億人の子ども達とのサミット開催を目指しています。

心身ともに発達する10代の重要な時期に、多国籍の子ども達と平和について主体的に学び考える体験をすることで、子ども達が国際協力に興味を持ち、将来、国際社会で活躍する力をつけることを期待しています。

商 号	一般社団法人ピースピースプロジェクト (Peace Piece Project)
設 立	2015年7月15日 ※2009年5月より活動、2015年7月法人化
代 表 者	代表理事 多田 多延子 (ただ たえこ)
所 在 地	広島市南区出汐1-17-25
Tel/Fax	(082)253-0693 (FAX:(082)253-0548) ※平日9時00分～18時00分
Mail	info@peacepieceproject.com
HP	https://peacepieceproject.com
認定	世界一大きい折り鶴ギネス記録保持

事業概要

ピースピースプロジェクトは、「子ども達が安心して暮らせる地球＝世界平和」を実現するため、心身ともに発達する10代の重要な時期の子ども達と、平和について学び考える活動を推進しています。活動にご賛同いただけましたら、ピースサポーターにご登録いただき応援頂けましたら光栄です。

子ども世界平和サミット®

詳細は [8ページ >>>](#)

外務省後援による
国際社会で活躍する子ども達の育成

- 世界各国の10代の子ども達によるスピーチ
「平和とは何か」、
「世界平和を創るアイデア」を発表、宣誓
- 衆議院議員会館 国際会議室で開催
- 子ども達のアイデアをオンライン配信

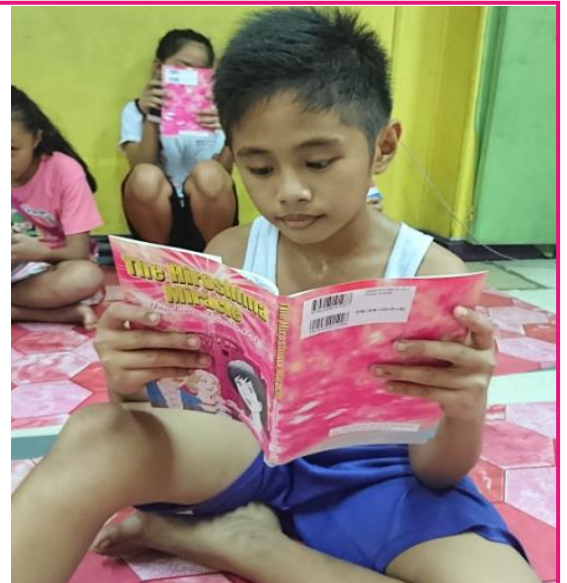


平和学習の推進

詳細は [12ページ >>>](#)

オバマ大統領感動の
漫画「キセキのヒロシマ」を活用した平和学習

- 教育機関との連携、教科書無料配信、
平和学習活用、学校訪問、講師
- 国連公用語6言語での出版
(英語、フランス語、アラビア語、
中国語、ロシア語、スペイン語)



活動報告、サポーター募集

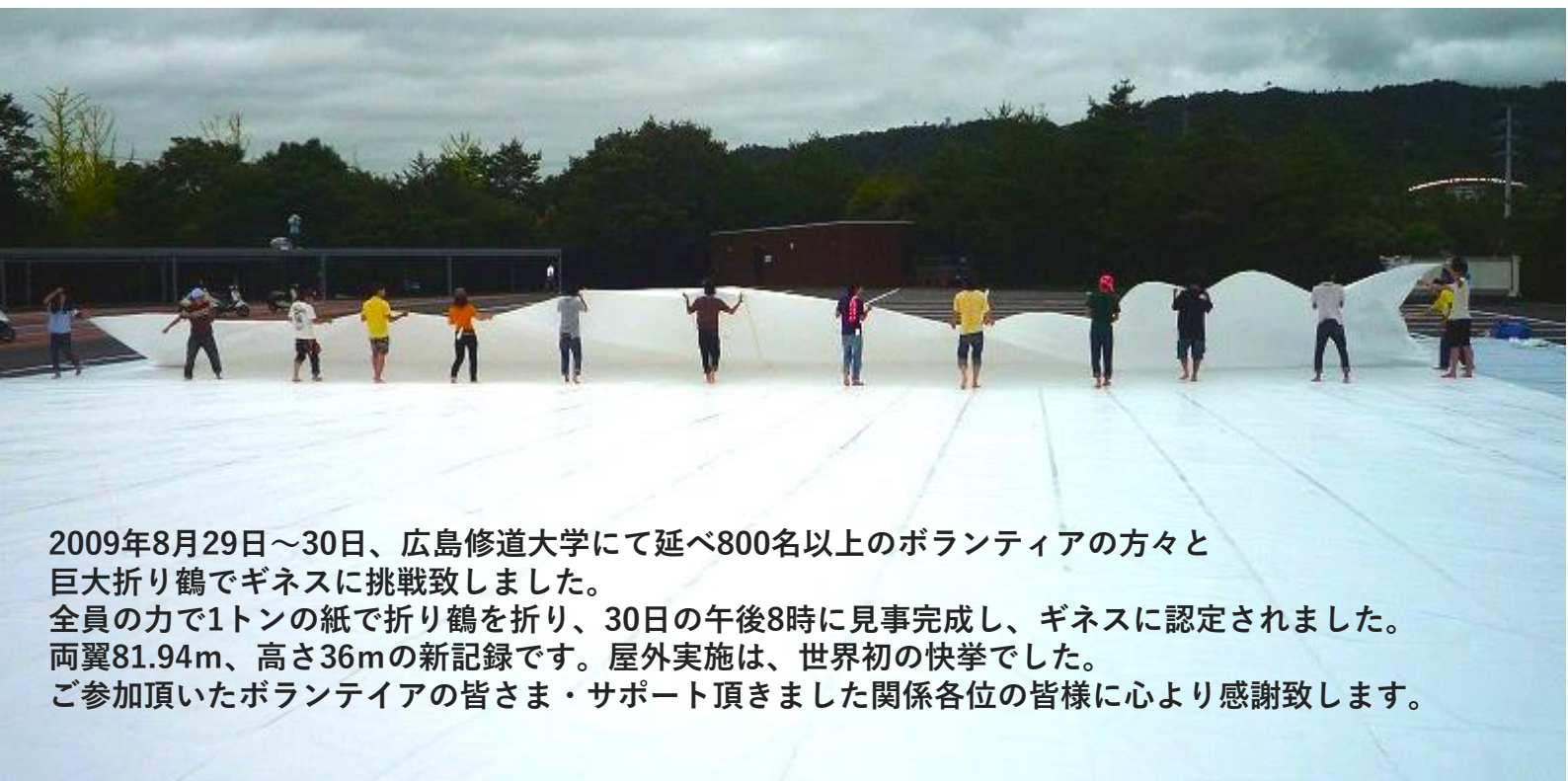
サポーター登録は [23ページ >>>](#)

イベントや講演会の開催や
活動報告による仲間づくり

- 国際的なサミットでのスピーチ、講演会、卓話
- 国際機関や要人の方々への活動報告
- 活動周知のためのイベント開催



ギネス記録 世界一大きい折り鶴



2009年8月29日～30日、広島修道大学にて延べ800名以上のボランティアの方々と
巨大折り鶴でギネスに挑戦致しました。

全員の力で1トンの紙で折り鶴を折り、30日の午後8時に見事完成し、ギネスに認定されました。
両翼81.94m、高さ36mの新記録です。屋外実施は、世界初の快挙でした。

ご参加頂いたボランティアの皆さま・サポート頂きました関係各位の皆様にご心より感謝致します。



ヒロシマ・オリンピック応援隊（～2010年）

2010年2月、「2020ヒロシマ・オリンピック応援隊」を結成し、広島にオリンピックを招致するための署名活動を行いました。

2020 ヒロシマ オリンピック応援隊

Peace Piece Project は、現在検討されている 2020 年ヒロシマ・オリンピック招致を応援しています。



オリンピックは、今から百数十年前、フランス人の『ピエール・ド・クーベルタン』により、スポーツを通し心身を調和的に発達させ、“世界の平和”に貢献することを願って設立されました。

「ならば、平和都市・広島で開催される意義があるのでは？」

そんな考えから、オリンピックの開催を通じ、広島から世界に“愛と平和”のメッセージを配信するため、ヒロシマ・オリンピック応援隊を発足させ、全国からご賛同頂き、総数603,186名の署名を広島市長に提出することができました。



子ども世界平和サミット®

外務省
後援

世界平和実現の方法を、世界各国の子ども達と一緒に考える。

子ども世界平和サミットでは、心身ともに発達する10代の重要な時期に、
多国籍の子ども達と平和について学び考える体験を通し、
国際協力への関心を高め、国際社会で世界平和実現のために活躍する力を育てます。

第1回目 外務省後援『子ども世界平和サミット』は、オンラインで実施。
子ども達が、「自分の想う平和とは?」「世界平和を創るアイデア」を考え、発表しました。



●子ども参加者：72名 ●チャンネル登録者数：164名
●視聴回数：7,643回 ※集計期間：2020年4月12日～8月25日
<http://peacepieceproject.com/cwps-youtube>

子ども世界平和サミット アンケート結果

<保護者の方への質問>

●参加にあたり、家族で協力したり、学校の協力はありましたか? (複数回答可)

- | | | | |
|--------------|-------|--------------|-------|
| ・家族と一緒に話し合った | 55.6% | ・家族で撮影を手伝った | 44.4% |
| ・学校の協力があった | 11.1% | ・子どもの自主性に任せた | 33.3% |

●子ども世界平和サミットへの参加を通じて、子どもの成長を感じましたか?

- ・子どもがとても成長した 100%

●子ども世界平和サミットに参加させて良かったですか?

- | | | | |
|----------|-------|-------|-------|
| ・とても良かった | 55.6% | ・良かった | 44.4% |
|----------|-------|-------|-------|

<参加された子ども達への質問>

●参加して新たな学びや気付きはありましたか?

- ・あった 100%

●参加してみて、平和を創る事に関心や興味が湧きましたか?

- | | | | |
|------------|-------|-----------|-------|
| ・すごく興味が湧いた | 55.6% | ・少し興味が湧いた | 44.4% |
|------------|-------|-----------|-------|

●子ども世界平和サミットに参加して良かったですか?

- | | | | |
|----------|-------|-------|-------|
| ・とても良かった | 55.6% | ・良かった | 44.4% |
|----------|-------|-------|-------|

いろんな国の
こども達のこと知れて
楽しかったです。

みんないろんな気持ちで
平和を祈ってることが
嬉しかったです。

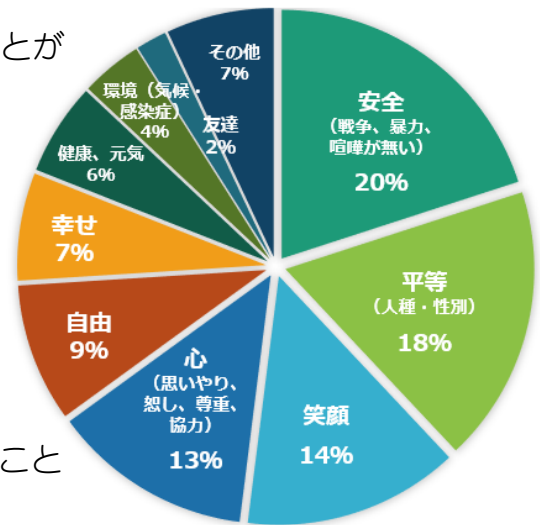
Q1. あなたにとっての平和とは何ですか？

安全で平等で、みんなが思いやりの心を持った笑顔あふれる自由な世界

- ・みんな仲良く笑顔でいること、元気いっぱい暮らせること
- ・家族とご飯を食べたり、学校へ行ったり、友達と遊んだりすることが当たり前でできたり、小さなことでも笑い合えること
- ・笑顔があふれ、ストレスが無い生活が送れること
- ・暴力や気候変動が無く、誰もがお互いに平等で優しく、お互いにアイデアを共有し合える世界



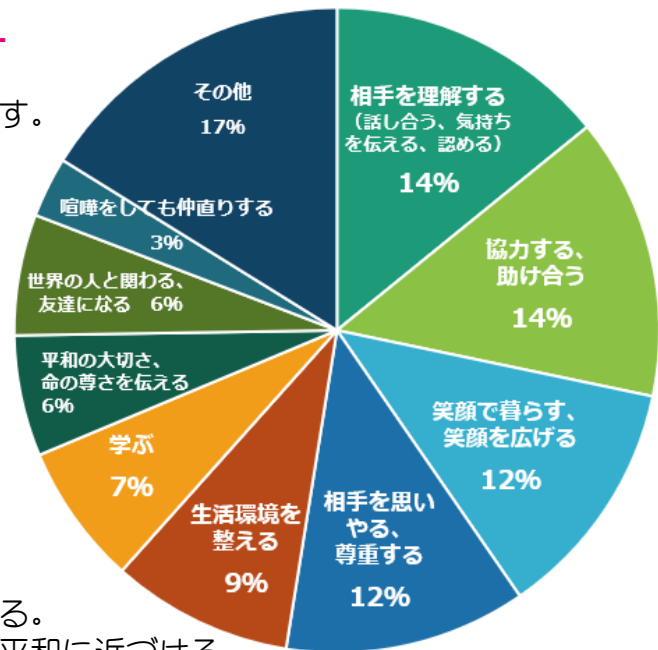
- ・喧嘩が無い仲良く暮らせる世界
- ・自由に友達とサッカーができる世界
- ・お互いに許し合えること
- ・互いを思いやる心をみんなが持つこと
- ・自分のやりたいことが自由にできる社会
- ・多様性を受け入れ、自由が保障されていること
- ・すべての人が笑顔で心から楽しめる世の中



Q2. 世界を平和にするアイデアを教えてください

相手を尊重・理解して、助け合って笑顔で暮らす

- ・よく話し合ってお互いの気持ちを伝え合う。笑顔で暮らす。
- ・命の尊さ、笑顔の大切さを伝え、たくさんの人に笑顔が届けていきたい。
- ・互いを思いやる心を、国中に、世界中に広げる。
- ・安全でおいしいものを食べると幸せになる。世界中の安全でおいしいものを見つけて皆に紹介する。
- ・世界中の人の笑顔を撮って、世界中を平和にする。
- ・何に対しても前向きに考えながら状況に向き合う。
- ・肌の色や生まれた場所、性別で夢を奪われない、奪わない。互いに応援し合う。
- ・国と国とが話し合い、お互いの意見を聞いて理解する。
- ・身の回りの家族や友達に思いやりをもって接する。
- ・自分と人との違いを認め合う。友達の良いところを見つけて伝える。世界中で友達を作る。
- ・争いが起こった時どう解決するか、どちらも傷つかずに平和に近づける。
- ・私たちが普通だと思っているこの暮らしや自分が生きていることに感謝する。



ドラゴンボール脚本家 小山高生様、宇宙飛行士 山崎直子様、経営コンサルタント・大ベストセラー作家 神田昌典様、7つの習慣翻訳・アメリカ経営コンサルタント ジェームス・スキナー様、プロバスケットボールチーム広島ドラゴンフライズの選手、3x3プロバスケット選手など、たくさんの方々に応援頂きました。



大阪・関西万博共創チャレンジ

TEAM
EXPO
2025

「子ども世界平和サミット®」が、
2025年大阪・関西万博「TEAM EXPO 2025」プログラム
共創チャレンジとして、正式登録されました！

100 か国 1 億人の子ども達との
「子ども世界平和サミット」で世界平和実現チャレンジ！



チーム名：2025 子ども世界平和サミット応援隊

共創チャレンジ内容

10代の子ども達が、子ども達の視点から「世界平和とは何か」を考え、
それぞれが考えた「世界平和」を実現するためのアイデアを
作文や動画で作成し、子ども代表に応募します。子ども代表は大阪・関西万博に集い、
世界平和を創るアイデアを発表し、行動を宣誓する「子ども世界平和サミット」
を通じて、世界平和を実現するチャレンジです。

未来への宣誓

心身ともに発達する10代の重要な時期の子ども達が、
多国籍の子ども達と平和について学び考える体験をすることで国際協力に興味を持ち、
平和を創る力が身に付き、将来、国際社会で活躍する力を育てます！
2025年開催の大阪・関西万博では、
世界100か国 1 億人の子ども達が平和を創るアイデアを発表し実現することを目指しています。

「TEAM EXPO 2025」プログラム／共創チャレンジとは？

大阪・関西万博のテーマである「いのち輝く未来社会のデザイン」を実現するため、
自らが主体となって未来に向けて行動を起こしている、
または行動を起こそうとしているチームの活動のことです。

私たちと一緒に活動しませんか？

今後の展開として、学校や教育機関、
大使館や、各国に繋がりのある企業・団体と連携して、
世界各国からの「子ども世界平和サミット」の参加や開催をして活動を広げて参ります。

企業・団体の技術協賛、資金協賛、人的協力や、
世界各国のたくさんの子ども達にサミットにご参加いただくための、
教育機関などへのお声掛けの応援を募集しております。

また、各国の支部となっただけの方や、学校・教育機関との連携ができる方、
ご協賛・ご協力企業として活動を応援頂ける企業、団体、個人などを探しております。

国際的・地球規模の共通課題への取り組み

子ども世界平和サミットは、国連が推進する

人間、地球及び繁栄のための行動計画「持続可能な開発目標（SDGs）」の達成に貢献します。

SDGsとは「持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals）」のことで、2015年9月の国連サミットで採択された2030年までの国際目標です。

「地球上の誰一人として取り残さない」という誓いのもと、人間、地球及び繁栄のための行動計画として、「貧困」「健康と福祉」「教育」「働きがい」「気候変動」など17の目標と169のターゲットで構成されています。



ピースピースプロジェクトでは「子ども世界平和サミット」を通じて、特に、下記の開発目標に貢献して参ります。

（１）持続可能な開発のための教育 ～ 質の高い教育をみんなに



<4.7> 2030年までに、持続可能な開発と持続可能なライフスタイル、人権、ジェンダー平等、平和と非暴力の文化、グローバル市民、および文化的多様性と文化が持続可能な開発にもたらす貢献の理解などの教育を通じて、すべての学習者が持続可能な開発を推進するための知識とスキルを獲得するようにする。

（２）国と国の間にある不平等や国の中での不平等を減らす



<10.2> 2030年までに、年齢、性別、障害、人種、民族、出自、宗教、あるいは経済的地位その他の状況に関わりなく、すべての人々のエンパワーメント、および社会的、経済的、および政治的な包含を促進する。

（３）平和で公正な社会をつくる ～ 暴力や暴力による死をなくす



<16.1> あらゆる場所において、すべての形態の暴力および暴力に関連する死亡率を大幅に減少させる。

<16.7> あらゆるレベルにおいて、対応的、包摂的、参加型、および代表的な意思決定を確保する。

上記以外にも、作品応募で参加する子ども達のアイデアにより、すべてのSDGsの達成に貢献することができます。

平和学習の教科書 漫画「キセキのヒロシマ」

戦後、精神面・生活面で奇跡的な復興を遂げたヒロシマ。

誰かを恨んだり、憎む心で停滞することなく、

恕す心で前を向いて生き抜いた、強く美しい女性たちの姿を漫画化し、平和学習の教科書にしました。

復興の歴史を学ぶことで、日本の文化を尊重し、それらをはぐくんできた先人と郷土を愛する心を養うとともに、進んで外国との関係や考え方の理解を通じて、他国を尊重し、

国際社会の平和と発展に寄与する心を養うことで、未来を拓く主体性のある子どもを育成致します。



日本語、英語、フランス語で出版。

国連公用語 6言語での出版と、平和学習の教科書としての採用を目指しています

これまでに、日本語、英語、フランス語にて出版して参りましたが、世界の子供達に読んでいただき、平和の創り方を伝えていくには、その国で使われている言語での活動が必要です。

まずは、多くの方が使う国連公用語6言語（英語、フランス語、アラビア語、中国語、ロシア語、スペイン語）にて出版致しますので、どうかサポーターになり応援いただきますようお願い申し上げます。

電子書籍を無料配信中 < Google books と Amazon Kindle >

下記のQRコードより、どなたでも無料でお読みいただけます。

授業でのご活用も大歓迎です。どうぞご自由にご活用くださいませ。

ご活用後、ご感想やお写真をお送り頂けましたら、今後の平和学習に大切に活用させていただきます。

※教育機関向けには、書籍の無料貸出もごさいます。事務局までお気軽にご相談ください。

※書籍版はお求め頂くこともできます。※1,650円（Yahooショッピングにて販売）



漫画「キセキのヒロシマ」を無料で読む（Kindle、Google books）

<https://peacepieceproject.com/peacelearning/hiroshimamiracle/>

お読み頂きましたら、5つ星レビューとシェアで応援頂けましたら嬉しいです。

オバマ大統領、キセキのヒロシマを読んで感動！

2016年4月14日、オバマ大統領広島訪問実現に向けて、駐日米国大使のキャロライン・ケネディ米国大使に、英語版のキセキのヒロシマを贈呈致しました。

すると、ケネディ米国大使から、「ワシントン（オバマ大統領）にも送ります」とお礼状を賜り、2016年5月27日に、オバマ大統領の広島訪問が実現致しました。

後日、オバマ大統領から、「あなたの物語に感動した」とお礼状を賜りました。



<オバマ大統領からのお手紙 日本語訳>

親愛なる多延子さん

私はあなたの物語に感動しました。

私は核兵器のない世界の実現への取り組みを再確認するために、広島を訪問しました。

私たちは、歴史を直視し、こうした悲劇を二度と再び繰り返さない様に、
私たちが何をすべきかを自問するという共通の責任があります。
被爆者によって設定された例を通して、私たちは戦争の力ではなく、
共通の人間性によって自分自身を定義することができます。
あの運命の日から、私たちは希望をもたらす選択もしてきました。
あなたの物語は、私達がどこまで来たかの証です。

より多くの人々が過去を理解し、思いやりを抱く時間があれば、
より明るい、より平和な将来が待ち受けていると確信しています。
あなたの物語を私と共有してくれてありがとう。あなたの人生に幸あれ。バラク・オバマ



AMBASSADOR OF
THE UNITED STATES OF AMERICA
TOKYO

April 21, 2016

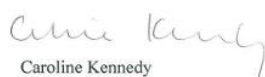
Ms. Taeko Tada
Representative
Peace Piece Project
1-17-25 Deshio, Minami-ku,
Hiroshima-shi, Hiroshima 734-0001

Dear Ms. Tada:

Thank you so much for sending two copies of *The Hiroshima Miracle – Hiroshima is in the Pink*. I look forward to sharing them with my Embassy colleagues and guests. We will also send a copy to Washington. I appreciate your thoughtfulness.

The foundation of the U.S. Government's non-proliferation efforts is the clear understanding and recognition of the human consequences of the use of nuclear weapons. I was deeply moved by my visits to Hiroshima and Nagasaki and hope that these visits help to advance President Obama's goal of realizing a world without nuclear weapons.

Sincerely,


Caroline Kennedy

THE WHITE HOUSE
WASHINGTON

November 3, 2016

Ms. Taeko Tada
Hiroshima, Japan

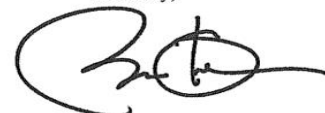
Dear Taeko:

Thank you for writing to Ambassador Kennedy. I am moved by your story.

I visited Hiroshima to reaffirm my commitment to working toward a world without nuclear weapons. We have a shared responsibility to look directly into the eye of history and ask what we must do differently to prevent such suffering from ever happening again. It is through the examples set by the hibakusha that we are able to define ourselves not by our capacity for war, but by our common humanity. Since that fateful day, we have made choices that give us hope, and stories like yours are a testament to how far we have come. So long as more people take the time to understand the past and embrace compassion, I am confident a brighter, more peaceful future lies ahead.

Thank you, again, for sharing your story with me. I wish you all the best.

Sincerely,



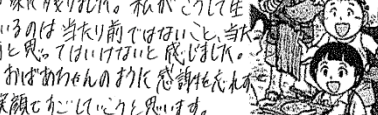
小学5～6年生の子ども達からのご感想

戦争を知らない子ども達が、本を読みながら、自分なりに思いを巡らせ、素直な気持ちを綴ってくれました。ほんの一部ではございますが、抜粋してご紹介致します。このストーリーを、多くの言語で翻訳・出版し、世界の子ども達に平和の創り方を伝えて参りたいと思っています。

キセキのヒロシマ読みました！

「こんなところが良かったよ！」
「平和のために、こんなことを始めてみようかな？」
思ったこと、考えたことを、本の原作者に伝えてみよう！

広島に原爆を落したアメリカ人を私も最悪だ」と思いました。6年生のときの修学旅行で原爆川についていろいろ習きました。でも、この本を読んで「原爆戦争が悪いのか」とはわかりませんでした。人を殺すという行為は許さずせんか？と私れも、そればかり道を歩むという大切な道が、1番入るべきところではないかと私は。私は一番心に残ったのは、おばあさんのひいおばあさんがよく言う、「つくき音楽を聴く時間は進んでいくけど、自分を待つことはできない。恨みや憎しみという感情は捨てる、それがあるために世の中のために行動してよ」。これが、前向きな人生を送るための秘訣なのかな、と思いました。私のひいおばあさんは広島県に住まうてはありますが、戦争がまだ一人です。ひいおばあさんは今年まで何月も「自分ごころ飯を食べるまでは、食前礼、長い時間をおわらば縁々と礼をし、食後も食前に同じお礼をしてました。毎日毎日それを続け、13年ほどたつ感謝しました。その姿が大変さんになり、おばあさんは喜び、とても印象に残りました。私がこうして生きているのは当たり前ではないこと、当たり前と感ぜられて感謝した。ひいおばあさんのおかげで感謝の心を毎日笑顔で過ごしていると思います。



私が一番心に残ったのは、
たえ子さんのひいおばあちゃんがよく言っていた言葉です。

時間は進んでいくばかりで、自分を待ってはくれない。
恨みや憎しみという感情は捨て、
幸せになるために生き延びるために行動しなさい。
これが前向きに人生を送るための秘けつかなと思いました。

私のひいおばあちゃんも、戦争にあった一人です。
ひいおばあちゃんは今年亡くなりましたが、
自分でご飯を食べれるまでは、食前に、
長い時間手を合わせ深々と礼をし、
食後も食前と同じようにしていました。
毎日毎日それを続け、いろんなことに感謝していました。
その姿がたえ子さんのひいおばあちゃんと重なり、
とても印象に残りました。

ひいおばあちゃんのように
感謝を忘れずに毎日笑顔で過ごしていこうと思います。

キセキのヒロシマ読みました！

「こんなところが良かったよ！」
「平和のために、こんなことを始めてみようかな？」
思ったこと、考えたことを、本の原作者に伝えてみよう！

この本を読んで原爆案に大変変わった。広島についてよくわかりました。原爆資料館では原爆の数々を見てやけどをおった人たちの爆風でひどくたがつかさった服など原爆のおきた様子詳しく説明されておもしろ。資料館に行くと暗いイメージがのこっています。しかしこの本を読むと、広島の人たちはこのようにして今の明るい広島を作ったことが書いてありとても夢中になりました。その中でも、2月3日で原爆前夜劇にたくさんいり、助けあっていた広島の人たちは強いんです。すごいなと心を動かされまして、2巻の原爆イメージがでる人たちのおかげで、今の広島があるのだと思えました。その中でも、戦争で憎んで外国を憎んでいる人たちという葉がでてとても悲しかったです。この本のおかげで、戦争がやめたほうがいいなとすごく思いました。この本のおかげで、広島イメージが太く変わりました。そして、今々原爆の悲劇にも負けず明るい心をもちた街にしたいと強く思うようになりました。これが『世界全体が』と

平和とあるために、許す心と大切にしようと思えました。

イラスト
大野望!



原爆資料館では、原爆の熱線でやけどを負った人たちや、爆風で飛んできたガラスがささった服など、原爆が起こした悲慘さしか説明されておらず、資料館に行っても暗いイメージしか残りませんでした。しかし、この本を読むと、広島の人たちがどのようにして今の明るい広島をつくったかが書いてあり、とても夢中になりました。

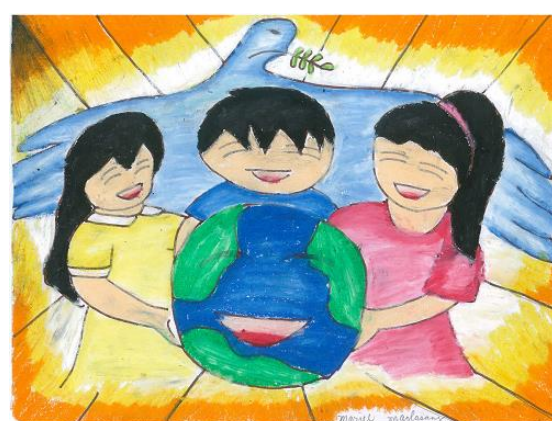
その中でも、2～3日で原爆の悲劇に立ち向かい、助け合っている広島の人たちは強いな、すごいな、と心を動かされました。

「戦争は憎んでも人や国を恨んではいけません」という言葉がとても心に響きました。この考えが世界を平和にするのだと感じました。これから世界全体が平和であるために、恕す心を大切にしようと思いました。

さんは、タコエガウ歳の時に（いおはあ5年の）^{（外）}に
 平和とは何かを聞いて、「平和、ウエムと云いはあ5
」として、「語彙におおき目印になかう、わいにおおして
時間」と、今は平和と云う。その場面が、すべて生じて
 ところあるとき、それは戦争の暗いにたてて、それは平和
 である、でも戦争が争い今でも、差別ある。たし、いろいろ
 いろいろの世界で、あんなに平和にたてなう。たてます。
 この本を読むと、あんなに平和にたてとある。そして
 前向きな気持ちを持ち、何事にもう勝。いい、う
 自信があんなにの「平和」のあんなにをあんなにとある。
 思いたった。この本を読むと、あんなに平和にたてとある。

今は、戦争の時に比べてとても平和です。
でも、戦争がない今でも、差別があったり、
いろいろないじめが世界中であって苦しんでいる人たちがいます。
この本は、どんなつらいことや悲しいことがあっても、
前向きな気持ちをもって何事にも打ち勝っていくという
自信や勇気などのアドバイスのようなものを教えてくださいました。
この本を読めてとても良かったです。

キセキのヒロシマを読まれた子ども達が描いてくださったポスター



長野県松本市清水中学校の全校生徒367名との平和授業のご感想

10月20日（火）、長野県松本市にある清水中学校の全校生徒367名と平和授業をさせていただきました。子ども達に、突然、世界平和を実現するにはどうしたらいいの？と考えてもらう事は難しいけれど、「サッカー選手になる」「お笑い芸人になって皆を笑わせる」など、子ども達が想像できる形、自分のできる形で、夢を通して世界平和を創ったり、社会貢献をしていくイメージをつかみ、世界に目を向けることをこの平和授業の目的とし、同時に、生きること、生かされていることの大切さにも気付いてほしいと願い授業させていただきました。

- ★ 私は何かやる前に「自分じゃ無理かな…」と毎回思ってしまう、なかなか実行することができないけど、できる・できないの前に「できる」と信じてやるのが大切ということが分かりました。
また、人生でひとりくらい誰かを幸せにできたらいいなと思いました。
- ★ 「平和」についてや、今の私たちにできることについてなど様々なことを考えさせられる講演会でした。
私たちは当たり前のように生活していますが、その1つ1つがもう平和を表しているのではないかなと思いました。みんなが幸せになれるように、世界中で助け合いの輪が広がっていくことを願います。
- ★ 多田さんのお話を聴いて、平和とは何かを改めて考えることができました。
平和を思う1人1人の小さな想いが集まることで、日本や世界を平和にする大きなものになるのだと分かり、とても素敵なことだと感じました。
「できるかな」ではなく、「やってみよう」とすることが夢を叶えるための第一歩になるのだと胸に響きました。
清水中での活動の輪が広がっていくのはとても素晴らしいことだと思うし、企画した彩香さんやたくさんの準備をしてきてくれた総務会の皆さんに感謝したいと思います。
- ★ 「平和」は普段あまり考えないことかもしれませんが、ですが、今日の講演のことを家族に話して、まずは身近な人を笑顔にさせていきたいです。そのために、自分も幸せでいようと思いました。

教育機関との連携

- 長野県松本市清水中学校 全校生徒367名との平和授業
- 下関市教育委員会との連携で、下関市のすべての小・中学校72校での平和学習
- 山口県夢が丘中学校、山口県誠意小学校への訪問、平和授業
- 広島市立幟町小学校、広島市立中島小学校への訪問
- 岡山県朝日塾小学校と修学旅行事前学習、修学旅行当日のご案内
- 愛知県半田小学校への無料貸出、平和学習活用
- 三重県阿山中学校への無料貸出、修学旅行用の平和学習活用



- 市長訪問、活動報告
- 広島市教育委員会との連携で、広島市内全小・中・高校216校図書館への寄贈
- 長野県伊賀市、神奈川県横須賀市教育委員会を通じて各市内の小・中学校に寄贈
- 長野県須坂市を通じて市内の小・中学校、図書館に寄贈



下関市教育長 児玉典彦氏



広島市教育長 糸山隆氏



広島市元教育長 尾形完治氏

- その他、寄贈、活用実績
- ・ 広島市経済観光局観光政策部との連携で、修学旅行生の平和学習資料として600冊寄贈
- ・ 広島市経済観光局観光政策部を通じて、教育機関に電子書籍や学習用PDFの提供
- ・ 関東学院大学の学生との平和教育ディスカッション
- ・ 広島市内の図書館12館に設置
- ・ 国立国会図書館
- ・ ニューヨーク市立図書館
- ・ ニューヨーク日本語補習校LI校
- ・ 東京国際フランス学園
- ・ 京都国際フランス学園
- ・ パリ インターナショナルスクール
- ・ EIBビクターヒューゴスクール（フランス・パリ）
- ・ マゴソスクール（ケニア孤児院）
- ・ NPO法人セブンスピリット（フィリピン）他多数



要人、国際機関への寄贈実績、講演実績

【要人への寄贈】

- ・ノーベル平和賞受賞 第44代アメリカ大統領 **バラク・オバマ**様
- ・キャロライン・ケネディ元駐日米国大使
- ・アラブ首長国連邦王族関係者 **アリ・アル・マダニ**様
- ・国連開発計画(UNDP) アルメニア駐在員 **ドミトリー・マリヤシン**様
- ・国際女性商工連盟(IWFCI) 創始者 **ダイアナ・R・アブルツィ**様
- ・世界女性企業家協会(FCEM) 世界代表 **マリー・クリスティーン・オグリ**様
- ・フランス語圏の25か国の大使館（フランス、ジブチ、カメルーン、コートジボワール、ギニア、アルジェリア、カナダ、モロッコ、ベナン、ガボン、ブルキナファソ、レバノン、コンゴ共和国、モーリタニア、セネガル、チュニジア、ルクセンブルク、ベルギー、ルワンダ、マリの特命全権大使及び、スイス、トーゴ、マダガスカル、コンゴ民主共和国、ハイチの臨時代理大使宛）、他多数



オバマ様妹君
ハワイ大学 平和学研究者
マヤ・カッサンドラ・ストロ様



モナコ公国プリンセス
キャサリン・コロンナ・
デ・スティリアーノ様



駐日フランス大使
ローラン・ピック様

【講演実績】

世界女性企業家協会(FCEM)世界大会 inロシア、
マケドニア共和国「マザーテレサ記念館」主催 マザー・テレサ写真展、
パイロットインターナショナル日本ディストリクト、公益社団法人経済同友会「同友クラブ」、
L.B.A.女性企業家協会、広島経済活性化推進倶楽部、一般財団法人お好み焼きアカデミー、
東京都倫理法人会港区、東京都倫理法人会中央区、上野倫理法人会、KKC、
広島東南ロータリークラブ、広島安佐ロータリークラブ、東京中央新ロータリークラブ、
広島ハワイ友好提携締結20周年記念 第1回広島ハワイ次世代ビジネスリーダーズ・プログラム
(ハワイ州・ホノルル日本人商工会議所、広島県・広島商工会議所主催)、 他多数



ピンクデー制定、ピンクパーティー主催

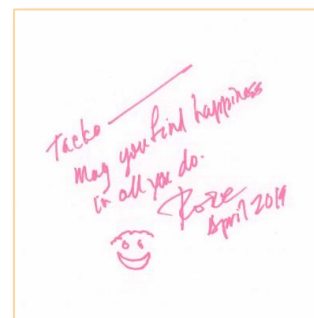
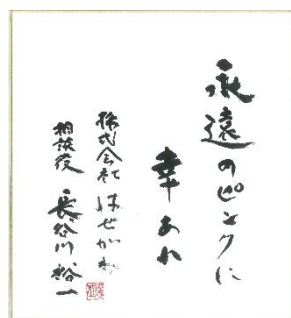
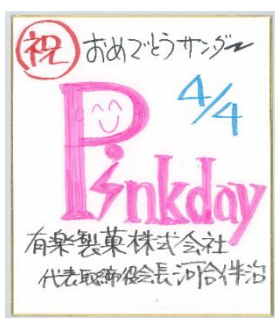
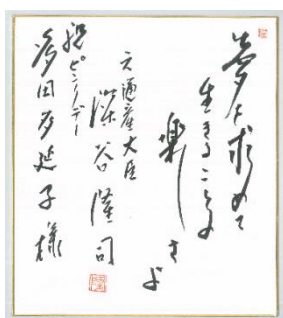


ピンクを贈り しあわせを分かち合う記念日 「Pink Day®」を制定

世界中で幸せになる人を増やしたい
という想いで、ピンクデーを制定致しました。

毎年4月4日は、Pink Day®
ピンクを贈り、幸せを分かちあう日です。
※一般社団法人日本記念日協会認定

▼ 設立のお祝いメッセージ色紙抜粋



ピンクパーティー開催

2019年4月4日、第1回目のPink Day®を記念して、
ザ・リッツ・カールトン東京にて、
ピンクに囲まれたラグジュアリーなパーティーを開催し、100名の皆様にご参加いただきました。



海外での活動

モナコ公国夏の舞踏会(王族主催)、世界女性起業家協会(FCEM)世界大会、IWFCI(国際女性連盟)、世界女性CEOサミット、フィリピン・ストリートチルドレンの学校 他多数



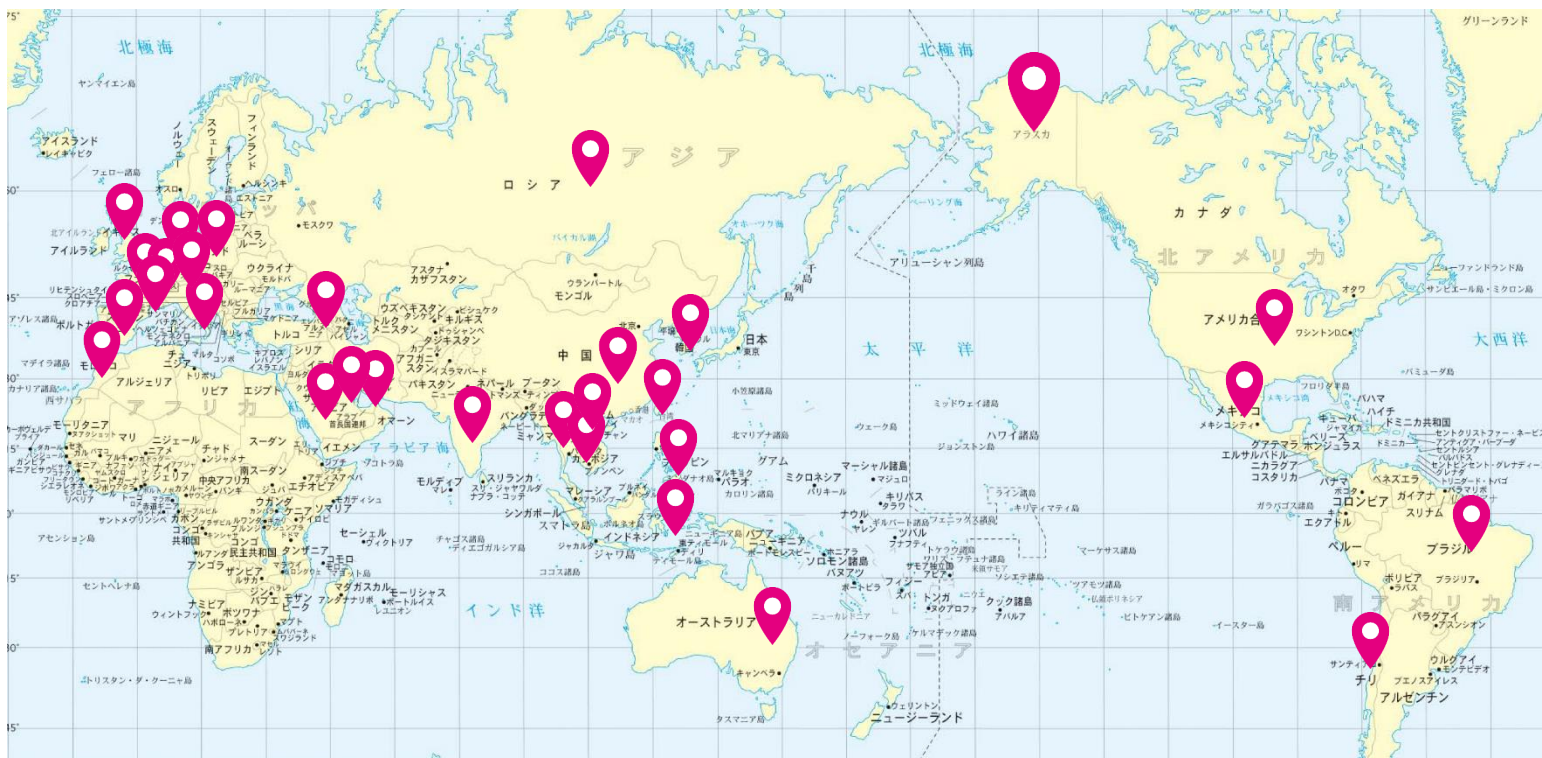
フィリピン・セブ島のスラムの子ども達に文具寄贈



120か国加盟の女性起業家協会の世界大会にて活動報告

世界35か国と地域を訪問

アメリカ（ニューヨーク、ハワイ、ワシントン、ヒューストン、サンフランシスコ、アラスカ、ロサンゼルス、ポートランド、マウイ島、サイパン、グアムなど）、メキシコ（ロス・カボス）、イタリア（ローマ、ミラノ、ナポリ、フィレンツェ）、フランス（パリ、ニース、サン・トロペ）、イギリス、ドイツ（ミュンヘン）、スペイン（マドリード、バルセロナ）、スイス、パチカン市国、ポーランド、オーストリア（ウィーン、ザルツブルク）、モナコ公国、オランダ（アムステルダム）、ベルギー（ブリュッセル）、ロシア（モスクワ、サンクト・ペテルブルグ）、オーストラリア（メルボルン）、中華人民共和国（上海、北京）、大韓民国（ソウル、釜山）、台湾、シンガポール、カンボジア、ベトナム、タイ（バンコク、プーケット）、フィリピン（マニラ、セブ島、ボラカイ島）、インドネシア（バリ島、フローレス島）、インド（デリー、ウダイプル、アーグラ、ジャイプール、ニューデリー、ムンバイ）、ミャンマー、モロッコ（マラケシュ、フェス、カサブランカ、シャウエン）、ドバイ、アラブ首長国連邦、サウジアラビア、アルメニア（エレバン）、ブラジル（カンポ・グランデ、サンパウロ）、カタール（ドーハ）、チリ（サンティアゴ） など



メディア掲載・出演

日本テレビ「マツコ会議」、TBSテレビ「その他の人に会ってみた」、共同通信、ジャパントゥタイムス、中国新聞、毎日新聞、朝日新聞、読売新聞、伊勢新聞、月刊ウェンディ広島、経済レポート、NHKラジオ第1、RCCラジオ、FMはつかいち、月刊経営誌「理念と経営」、子どもの心を育てる良書目録（広島市こども図書館発行）、チャレンジ5年生「未来発見ブック」（ベネッセコーポレーション発行）他多数

13版S 2020年(令和2年)6月30日(火) 第1 広島 24

カンナの花 結んだ平和の願い



「キセキのヒロシマ」原作者 須坂市に漫画本
被爆者の体験を、平和の願いを込めて、漫画本「カンナの花」が、須坂市に到着した。原作者の多田多延子さんが、須坂市に漫画本を寄贈した。多田さんは、被爆者の体験を、平和の願いを込めて、漫画本「カンナの花」を描いた。この漫画本は、須坂市に到着した。多田さんは、被爆者の体験を、平和の願いを込めて、漫画本「カンナの花」を描いた。この漫画本は、須坂市に到着した。

活動団体に協力の縁で
多田さんは、被爆者の体験を、平和の願いを込めて、漫画本「カンナの花」を描いた。この漫画本は、須坂市に到着した。多田さんは、被爆者の体験を、平和の願いを込めて、漫画本「カンナの花」を描いた。この漫画本は、須坂市に到着した。



曾祖母モデル 被爆後の復興描いた漫画

「キセキのヒロシマ」伝説で



原作者 多田さん 出版目指しCDで支援募る
「キセキのヒロシマ」は、多田多延子さんが、被爆者の体験を、平和の願いを込めて、漫画本「カンナの花」を描いた。この漫画本は、須坂市に到着した。多田さんは、被爆者の体験を、平和の願いを込めて、漫画本「カンナの花」を描いた。この漫画本は、須坂市に到着した。

2017年(平成29年)11月6日(月)



ピンクの社長に届いた手紙



「In the pink」という意味だ。多田多延子さんは、被爆者の体験を、平和の願いを込めて、漫画本「カンナの花」を描いた。この漫画本は、須坂市に到着した。多田さんは、被爆者の体験を、平和の願いを込めて、漫画本「カンナの花」を描いた。この漫画本は、須坂市に到着した。

2014年(平成26年)7月9日(水曜日) 第1 広島 24

漫画で描くヒロシマ復興



漫画で描くヒロシマ復興 市民グループが第1巻出版
広島市南区の市民団体「ピースピースプロジェクト」(多田多延子代表)が、被爆地広島復興の歩みを描いた漫画「キセキのヒロシマ」第1巻を出版した。被爆70年の来賓までに順次、全5巻を刊行する。全巻をそろえて、全市立校に寄贈するといふ。

2014年(平成26年)7月14日(月曜日) 第1 広島 24

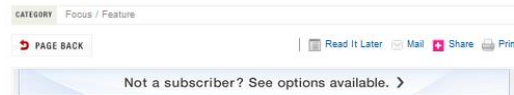


曾祖母の前向き人生5巻に

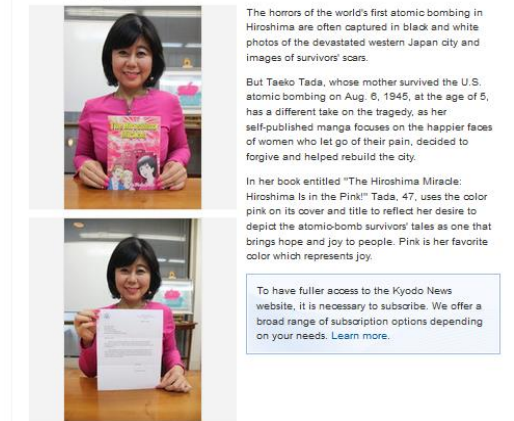


「キセキのヒロシマ」は、多田多延子さんが、被爆者の体験を、平和の願いを込めて、漫画本「カンナの花」を描いた。この漫画本は、須坂市に到着した。多田さんは、被爆者の体験を、平和の願いを込めて、漫画本「カンナの花」を描いた。この漫画本は、須坂市に到着した。

2016年3月、“The Hiroshima Miracle”（英語版「キセキのヒロシマ」）出版が
ジャパントイムスや共同ニュース等、海外メディアに掲載



10:08 28 May 2016
FEATURE: Women's resilience takes the stage in manga of A-bomb survivor's kin
By May Masangkay
HIROSHIMA, May 28, Kyodo



NATIONAL
Manga shows Hiroshima survival as one of joy
By May Masangkay
HIROSHIMA

HIROSHIMA—The horror in post-bombing Hiroshima is captured in black-and-white photos of the city and its beleaguered survivors.

But Taeko Tada, whose mother survived the U.S. atomic bombing at the age of 5, has a different take on the tragedy. Her self-published manga focuses on the happier faces of women who let go of their pain, decided to forgive and helped to rebuild the city.

"The Hiroshima Miracle: Hiroshima is in the Pink" uses the color pink on its cover to depict the hibakusha experience as one of hope and joy.

"I wanted people to know more of the brighter side of Hiroshima, that this city is in the pink and filled with happiness as a result of efforts by women like my great-grandmother to rebuild the city after the atomic bomb," said Tada, 47, a representative of the Hiroshima-based Peace Piece Project.

"Hiroshima is not just an atomic-bombed city with a sad history but also with a story of rising above the tragedy. I wanted to retell the stories of women who struggled and played key roles in reconstruction efforts and how women forgave and helped each other."

Tada's great-grandmother lost her daughter-in-law at age 56 due to the effects of the atomic bomb and raised Tada's mother alone.

Tada released the manga in Japanese in five booklets last year, to mark 70 years since the end of World War II. It was printed in English in March and will be available on iBooks.

The book was sent to American Ambassador Caroline Kennedy, who in April wrote a letter of thanks. Kennedy said a copy will be sent to Washington.

In her letter, Kennedy said she was "deeply moved" by her visits to Hiroshima and Nagasaki, and said she hopes the visits will "help to advance President [Barack] Obama's goal of realizing a world without nuclear weapons."

Tada said she was "very touched" by Obama's speech during his historic visit Friday to Hiroshima as the first sitting U.S. president to do so, especially since he mentioned a story about forgiveness, a theme that reverberates in her manga.

In his address, Obama spoke of a woman who forgave the pilot who flew the plane that dropped the bomb "because she recognized what she really hated was war itself."

Tada's 172-page book features her great-grandmother's ordeal in the aftermath of the bombing. Tada said she was very young when her great-grandmother died but vividly recalls her inspiring words about how it is better to forgive than to be stuck in the past.

The manga also features the story of a mother who cheered on a struggling baseball team in Hiroshima in honor of her son and a woman who was known as one of the "Hiroshima Maidens" invited to the United States for reconstructive surgery.

Recounting her experience in high school, Tada said she was shocked when, as a volunteer guide for foreign visitors, she was asked if the people in Hiroshima still hated Americans.

"[The] atomic bombing is a serious subject and sometimes discourages people to come here. People feel heavy after touring through the Peace Memorial Park and other atomic bomb-related sites," she said.

She said her manga received positive feedback from atomic bomb survivors, who thanked her for sharing sentiments they could not quite articulate.

"We cannot live in the past. We cannot change what happened," Tada said. Her message is to live toward the future: "This is the Hiroshima I want people to know."



Manga seeks to counter gloomy stereotypes Hiroshima survival one of joy, artist says

May Masangkay
Hiroshima
KYODO

The horror in post-bombing Hiroshima is captured in black-and-white photos of the city and its beleaguered survivors.

But Taeko Tada, whose mother survived the U.S. atomic bombing at the age of 5, has a different take on the tragedy. Her self-published manga focuses on the happier faces of women who let go of their pain, decided to forgive and helped to rebuild the city.

"The Hiroshima Miracle: Hiroshima is in the Pink!" uses the color pink on its cover to depict the hibakusha experience as one of hope and joy.

"I wanted people to know more of the brighter side of Hiroshima, that this city is in the pink and filled with happiness as a result of efforts by women like my great-grandmother to rebuild the city after the atomic bomb," said Tada, 47, a representative of the Hiroshima-based Peace Piece Project.

"Hiroshima is not just an atomic-bombed city with a sad history but also with a story of rising above the tragedy. I wanted to retell the stories of women who struggled and played key roles in reconstruction efforts and how women forgave and helped each other."

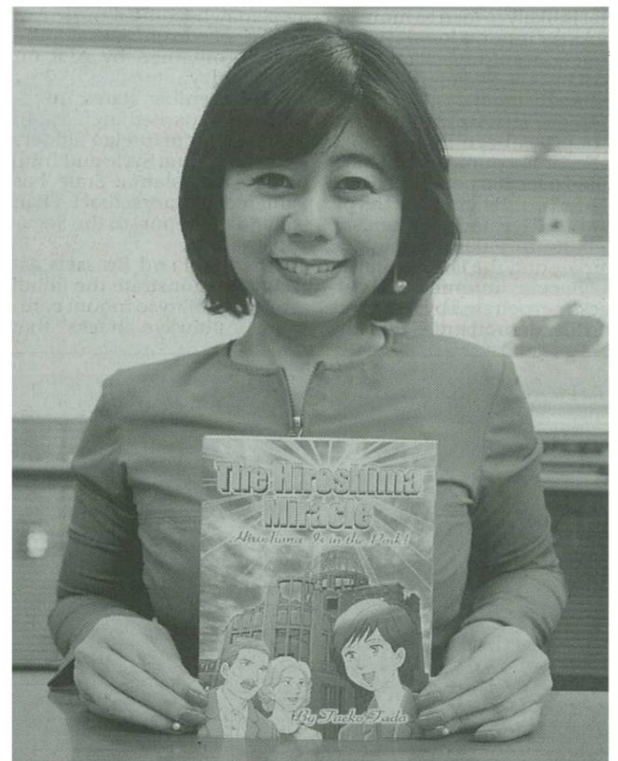
Tada's great-grandmother lost her daughter-in-law at age 56 due to the effects of the atomic bomb and raised Tada's mother alone.

Tada released the manga in Japanese in five booklets last year, to mark 70 years since the end of World War II. It was printed in English in March and will be available on iBooks.

The book was sent to American Ambassador Caroline Kennedy, who in April wrote a letter of thanks. Kennedy said a copy will be sent to Washington.

In her letter, Kennedy said she was "deeply moved" by her visits to Hiroshima and Nagasaki, and said she hopes the visits will "help to advance President [Barack] Obama's goal of realizing a world without nuclear weapons."

Tada said she was "very



Taeko Tada holds a copy of the manga she wrote about women who survived the atomic bombing, seen on May 25. KYODO

touched" by Obama's speech during his historic visit Friday to Hiroshima as the first sitting U.S. president to do so, especially since he mentioned a story about forgiveness, a theme that reverberates in her manga.

In his address, Obama spoke of a woman who forgave the pilot who flew the plane that dropped the bomb "because she recognized what she really hated was war itself."

Tada's 172-page book features her great-grandmother's ordeal in the aftermath of the bombing. Tada said she was very young when her great-grandmother died but vividly recalls her inspiring words about how it is better to forgive than to be stuck in the past.

The manga also features the story of a mother who cheered on a struggling baseball team in Hiroshima in honor of her son and a woman who was known

as one of the "Hiroshima Maidens" invited to the United States for reconstructive surgery.

Recounting her experience in high school, Tada said she was shocked when, as a volunteer guide for foreign visitors, she was asked if the people in Hiroshima still hated Americans.

"(The) atomic bombing is a serious subject and sometimes discourages people to come here. People feel heavy after touring through the Peace Memorial Park and other atomic bomb-related sites," she said.

She said her manga received positive feedback from atomic bomb survivors, who thanked her for sharing sentiments they could not quite articulate.

"We cannot live in the past. We cannot change what happened," Tada said. Her message is to live toward the future: "This is the Hiroshima I want people to know."

ピースピースプロジェクト サポーター

ピースピースプロジェクトは、10代を中心とした子ども達と一緒に世界平和の創り方を学び、青少年の平和を創る力を養う活動を国内外で推進する一般社団法人です。

皆様からのご寄付は、下記の活動をはじめ、

平和を創る子ども達を育て、子ども達との平和学習を推進する

ピースピースプロジェクトの活動継続に大切に活用させていただきます。

- 子ども世界平和サミット®など、平和を創る子ども達を育てるイベント開催費
- 子ども達との平和学習に係る、出版・贈呈費用、学校訪問にかかる費用
- 海外、国内での講演、イベントにかかる費用
- 事務局運営費、ホームページ作成・運用費 など

皆様のサポーター登録とあたたかい応援をお待ちしております。

2021年度 ピースサポーター様

法人サポーター（敬称略）

医療法人社団秋月会	株式会社エスウィル	医療法人康德会 西宮SHUHEI美容クリニック
オーシャンキッズクリニック	株式会社ウェイズ	有限会社グローバルファクトリー
株式会社山一商事	株式会社永川組建設	株式会社アングル
エネアース株式会社	株式会社ティーエスピー	株式会社甲石製館
株式会社サンギョウサプライ	アスタッフ株式会社	株式会社小原工業
三恵不動産株式会社	医療法人百花繚乱	ワオ高等学校

ピースサポーター（敬称略）

比嘉謙介	福澤祐樹	田中洋子	森田誠司	富田和雄	加藤美和
田崎秀和	吉田就彦	上田佳苗	板橋理恵	知花潤	西原宏夫
助川健	河合拓志	堀岡ゆっこ	黒木弘美	福田和昭	星空パルン
多田寛子	山下江	城麻里奈	森田真樹	日比将人	兼元謙任
岡部優	前所麻里江	成松波恵	影山順司	松岡朋子	くるみさわしずえ
倉秀人	尾山謙二郎	植松瞳	池内純人	深谷隆司	向井優子
中野豪大	高木芳郎	磯貝知美	山本周平	西浦みどり	板橋理恵
佐々木守	永井真人	松岡督明	矢島真紀	渡辺玲子	吉松こころ
明山友美	菅原佳耶	石山勝則	堀籠英樹	塩田恭子	
早川和志	新岡こず恵	坂本成章	丸山隆太	田口美智子	



ピースピースプロジェクトは
平和を創る子ども達を育て世界平和を実現します

すべての活動は、国連が推進する人間、地球及び繁栄のための行動計画「持続可能な開発目標（SDGs）」の達成に貢献しています。

ピースサポーター募集

あなたも子ども達の平和学習を応援しませんか？

世界2億5000万人の子ども達が安心して暮らせる地球を創るには、多くの理解者や応援者が必要です。どうか皆様一人ひとりの継続的なご支援、ご寄付をお願い申し上げます。

サポーター会員の方には、最新の活動情報、特別なイベント情報などをお届け致します。



個人サポーター 月会費：1口 1,000円（1日33円）から

クレジットカードまたは銀行引落にてサポーター会費のお支払いが可能です。
下記URLまたはQRコードからアクセスし、ご登録ください。

<https://peacepieceproject.com/cooperate/join-us>



法人サポーター

下記URLまたはQRコードから、詳細のご確認やご登録いただけます。

<https://peacepieceproject.com/cooperate/company>



法人サポーター様の特典例

- ①ピースピースプロジェクトから法人サポーター様に感謝状贈呈（額入り）
- ②法人Webサイトへのピースピースプロジェクトのロゴ使用の権利（商用使用を除く）
- ③下記表現など、法人Webサイトへの使用の権利

「私たちは世界平和を創る子ども達を育てるピースピースプロジェクトの活動を応援しています」等

● ご寄付（銀行振込）での応援も受付しております

- お振込み先 【銀行名】ゆうちょ銀行 【店名】一三九（イチサンキュウ）【店番】139
【口座番号】当座 0104239 【口座名義】一般社団法人ピースピースプロジェクト
- ※活動報告をご希望の場合、事務局まで氏名、ご住所、電話番号をお知らせ下さいませ。
- 【ピースピースプロジェクト事務局】Mail: info@peacepieceproject.com FAX: 082-253-0548

外務省後援・第2回 子ども世界平和サミット®

子ども代表募集

衆議院議員会の大員席で
世界を平和にするアイデアを
発表しませんか？



PEACE
PIECE
PROJECT



写真提供：衆議院

実施日

2021年8月10日(火) ※応募期間は2021年4月30日～6月14日

応募資格

応募時点で10～18歳の方

テーマ

「平和ってなに？わたしが考える世界平和を創るアイデア」

あなたの思う平和とは何か、世界を平和にするための、あなたのアイデアを教えてください。

応募方法

テーマに沿った「作文」または「3分以内のスピーチ動画」を提出

【審査員】宇宙飛行士 山崎直子氏(予定) ほか

【ゲスト】国際博覧会担当大臣 井上信治氏(予定) ほか

● 詳細はこちら: <https://peacepieceproject.com/cwps2021>



一般社団法人ピースピースプロジェクト (英語表記 Peace Piece Project)

広島県広島市南区出汐1-17-25

[Mail] info@peacepieceproject.com [HP] <https://peacepieceproject.com/>

[Tel] 082-253-0693 ※平日 9:00～18:00

平和を創る子ども達を育て、子ども達が安心して暮らせる地球を創る

